

(CF₃)_nbpy (n=2, 4) を配位子として含む、
ターピリジンルテニウム(II) 錯体の合成

1070115 横山 正幸

Yokoyama Masayuki

Synthesis of terpyridine ruthenium(II) complexes containing (CF₃)_nbpy (n=2, 4) ligands.

水の酸化触媒として[Ru(bpy)₂(H₂O)]₂O が知られている。ターピリジンルテニウム(II) 錯体の酸化触媒としての可能性を検討する目的で、電子吸引性の置換基トリフルオロメチル基を含むビピリジン配位子、ビストリフルオロメチルビピリジン(BTFMB)、テトラキストリフルオロメチルビピリジン(TTFMB)を含む、表題の Ru(II) 錯体の合成を次のスキームに従って行った。反応生成物をアルミナカラムで分離し、可視吸収スペクトル、NMR スペクトルを用いて構造の帰属を試みた。

